



ディスペンサロボット



培地分注装置



圧巻線機

# 3DCADを駆使 設計から製作まで 一手に引き受ける 仕事人集団



## 株式会社大晃機械製作所

### 電力・自動車から医療分野まで 幅広い守備範囲

昭和26年の創業以来、時代が求める機械を製作してきた大晃機械製作所。電力会社の変圧器用巻線機の開発・製造をはじめ、自動車、溶接、真空・冷凍関係や原子炉、造船、半導体から医療まで、その守備範囲は広い。しかも、時代に迎合してどれか一分野に特化することなく、すべての分野に軸足を置いているのが特長だ。

「創業以来、ご縁があった企業とは今も懇意におつきあいをさせていただいています。そのおかげで、時代の浮き沈みに巻き込まれることなく今日まで来ました」と謙虚に語る松村吉雄社長。一つの業種に30%以上比重をかけないという姿勢は、同社のリスクヘッジ対策である反面、どの業界からも頼りにされていることの証しにほかならない。

現在は機械製作だけでなく、3DCADを駆使して取引先のFA・ロボット・メカトロニクス等の各種自動化や省人化システムの企画・提案・開発・設計・製作を行っている。

FA化といえは、近年のことのように思うが、松村社長がロボットに取り組み始めたのは、自身の学生時代から。すでに30年以上、工業用ロボットの研究開発をしているのだ。現在、大晃機械製作所では、3軸溶接ボジショナやロボット2台とボジショナ2台の連動セルシステム、ディスペンサロボット等、多彩なラインナップを持つ。また、特殊な巻線が可能な高速加圧巻線機や自社開発の目薬の培地分注装置等、高度な製品群の設計、製作も得意としている。

### インベントリー・ソリッドワークで 図面製作

設計から機械加工、組立、電気ソフトの管理や納入、据付後のメンテナンスまで、一貫してフォローするプレゼンでは色鮮やかな3DCAD図面がパソコン画面を縦横に動き、顧客の要望に素早く回答している。「この加工を○秒でやってほしい」といったお客様の具体的な要望を聞いて、すぐに対応できるのが強みです」と松村社長。

図面等のソフト部門を支えているのが、平成19年にベトナムに設立したソフトウェア開発事務所だ。同所ではホーチミン工科大学卒業の優秀な学生を採用。14名が最先端ソフトのインベントリー・ソリッドワークで、図面製作を行っている。現在では月間5000枚のデータをやりとりするという。ベトナムの事務所に図面製作やソフト開発をまかせることで、本社では提案営業により力を入れることができ、会社全体の効率も

アップしている。

また、働き甲斐のある企業を目指し、従業員の能力を重視。ベトナムの現地採用もそのひとつだが、本社では定年退職した人でも能力があれば継続して雇用している。熟練の技術を持つ70代後半の職員が生き生きと働いているのだ。「ロマンを求めて挑戦する」という経営理念を掲げる同社。松村社長は、「もっと難しい企画をこなしてみたい。私をうならせるような案件をお待ちしています」と、新しいロボットやソフト開発に意欲を燃やしている。

株式会社大晃機械製作所

Company Profile

住所 / 〒569-0041  
大阪府高槻市北大橋町20-1  
創業 / 昭和26年10月  
設立 / 昭和28年2月  
資本金 / 1,000万円  
従業員 / 20名 (平成21年1月現在)  
TEL / 0726-76-1771  
FAX / 0726-72-9560



松村吉雄さん  
代表取締役

### 主な事業内容

- 変圧器コア・コイルの専用加工機、各種溶接装置、自動車溶接機、専用溶接機、組付治具等
- 溶接機、各種溶接機、組付治具等
- 自動車溶接機、専用溶接機、組付治具等
- 組付治具等

<http://www.daikokikai.co.jp/>